



個人の尊厳に基づく共生社会の実現

こやま かおる

小山香



前市議会議員
弁護士

〒3510006 朝霞市仲町 2-2-38-805 小山法律事務所 2021年1月発行 since2007

小山香のブログ、Facebook ぜひお立ち寄りください 小山香 🔍 検索 TEL048-465-0125 FAX048-465-3364 E-MAIL koyamalo@nifty.com



市議会本会議で一般質問する小山

私は、一昨年まで3期12年の議員として多選弊害を体験しました。市長は、議会に提出した議案について、議員の賛成討論を職員に作らせていたのです。これは、市長と議員との癒着であり、あつてはならないことです。

富岡市長は、2月28日の朝霞市長選挙に立候補されるということです。当選されると市長は5選となります。5選は明らかに多選といえます。多選は①独裁化、②行政組織の硬直化、③関係者との癒着、④付度などが指摘されています。

市長も議員もともに住民の代表です。市長は、議員との関係を適切に維持しながら議案の賛同を得るためにもっと妥当な方法はないのでしょうか。心配なのは、職員との関係です。多選により、市長が独善的になってし

癒着・付度を生む

市長の5選いいののか？

朝霞市のため刷新しよう



市が議員の賛成討論を作成していたことを伝える新聞記事

まい、職員は、市長に対し付度、必要な提言の差し控え、志気の停滞、萎縮はないのでしょうか。長くトップに君臨しているとしても弊害が生じます。やはり朝霞市のために刷新すべきです。

最大の失政

学校に教室がない

富岡市政の最大の失政は、人口が増加するのを知りながら学校をつくる

等の対策をとってこなかったことです。議会では、そのうち、子どもの数が減るからといっていました。現在八小が1000名を超え36学級です。早晩、五小、六小も1000名を超えます。文科省は、31学級を超えると過大規模校と呼び、速やかな解消を促しています。

令和2年度と8年度の児童数予測 (赤丸は1000人超え)

小学校	1小	2小	3小	4小	5小	6小	7小	8小	9小	10小	計
2年度	567	691	710	636	937	917	751	1167	333	689	7398
8年度	549	661	896	471	1002	1047	648	1190	442	842	7748

プレハブ校舎イメージ



にもかかわらず富岡市長は、校地獲得ではなく、反対に旧四小の跡地(土地交換の代替地にもなる)を企業に5年間貸しました。教育の住環境を犠牲してまでも地代を得たいとの政策は誤っています。文科省は、この4月から、35人学級を実施します。多くの自治体では、当然に歓迎する政策です。朝霞市では大変な事態です。教室がないのです。戦後のベビーブームの教室不足ではなく、人口予測調査で人口増加がわかっているのに校地の手当てをしてきませんでした。市は校庭をつぶしてプレハブ仮設教室で授業をするといえます。富岡市長の子どもを置き去りにした、こんなまちづくりは、やめてもらいたいです。

しあわせ中心社会のまちに生きる

あなたは困ったとき、必要があれば、いつでも頼れる親戚や友人はいますか？

あなたのかたわらで あなたを支えます 【小山のまちづくり構想から抜粋】

その悩み 市役所で解決

専門家職員による支援

市役所職員に弁護士、臨床心理士、社会福祉士などの専門家を採用し、困りごとがある市民の問題に端的な解決へつなげます。

生活改善型税金等滞納相談

税金、水道料金、学校給食等の滞納者に速やかに相談を行って生活を改善し、滞納状態の解消を助言します。

セーフティネット基金

すべての市民を置き去りにしない。そのためにセーフティネット基金を作り、迅速確実なる救済を検討します。

人権擁護センター創設

児童等の虐待 DV 被害、高齢者等のさまざまな問題解決窓口を一本化するセンターを創設し迅速な解決を検討します。

社会福祉協議会事業拡充

事業を地域課題（引きこもり、高齢者課題、認知症不安、自殺対策、賃貸住宅保証人等）まで拡大し解決を検討します。

過大規模校解消の検討

現在 8 小のみならず 5 小、6 小も 31 学級を超えるような文科省のいう過大規模校になる可能性があります。劣悪な教育環境の解消を検討します。

中学生放課後活動支援

部活動は、子どもたちの重要なセーフティネット。さらに学習も含めて教職員に頼らない支援を検討します。

子どもがいきいきと輝くように

子どもの権利条例

子どもはこのまちの未来です。「子どもの権利条例」を制定し、子どもたちもまちづくりに参加してもらいます。

不登校・いじめ問題対応

スクールロイヤー、臨床心理士等と連携して、「子どもたちがいきいき」とする学校をつくれます。

GIGAスクール構想対応

PC 端末学習がはじまります。家庭の通信環境事情の格差による学習環境障害の軽減を検討します。



知と和 交流の促進

図書館の機能拡大

知的交流センターを検討します。読書、学習、仕事その他のオープンスペース、電子図書館、さらにイベント、講座等。

みんなの食堂

楽しい子ども食堂に高齢者、さらにさまざまな人が利用できる「みんなの食堂」を作りましょう。

市民大学・コミュニティ活動支援

生涯教育及び交流のサロン等充実し、市民の自己啓発、交流、地域活動を支援します。



→ なかにしさんと記念撮影

なかにし礼さん 平和への思い ありがとう

いる。現をめぐらして、個人の尊厳に基づく共生社会の実現をめざしている。



満員の埼玉会館大ホール

一生の戦争体験者である。私はなかにしさんの詩の思いを受けつぎ、弁護士として、個人の尊厳に基づき共生社会の実現をめざしている。なかにし礼さんが年末に亡くなりました。私は、直ぐに 2014 年 7 月の埼玉弁護士会の憲法のイベントでの講演会を思い出した。埼玉会館大ホールには人があふれ、聞いていた。講演の最後に詩の朗読があった。なかにしさんの伝記を読むと、まさに九死に一生の戦争体験者である。

「しかし俺は平和が好きなんだ
そののどろが悪い？」（なかにし礼「平和の申し子たちへ」泣きながら抵抗を始めよう」より）